

レベル	科目名	担当者	曜日・時間	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
1	日本語1総合A	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	月曜・2限	N313	日本語でより深く自由に表現できることを目指す。その上で、自分の意見および、自分とは異なる意見を客観的に評価し、各自が自分に合ったコミュニケーションの目的、意義、あり方を明示的にする。	学期の後半に行うディスカッションを有意義なものにすることを目指し、おおよそ以下のプロセスを丁寧に積み重ねていく。各プロセスは、自分の考えを、より深め、広げ、整理して、日本語で言語化することを目指している。 1. 自分の考えを整理し、より深く、よりわかりやすく言語化する 2. 必要な情報収集を行い、クラスメートと情報共有・情報交換を行う 2. 意見を述べる⇒賛成意見・反対意見をスムーズの述べられるようにする 3. すべての作業を通して、常にメタ認知⇒振り返り⇒改善を心がける また、常に生成AIを有効に利用できるよう、クラス全員でどう使ったらよいかについても、ともに考えていく。 課題提出、遅刻・欠席・休講などの連絡はすべてTeamsで行う。 ※受講者により、内容を変更することがあります。	プリント配布。 ※紙媒体によって配布したり、Teamsにデジタル版をアップすることがある。	授業への取り組み（発言など）50%、Teamsへの課題提出 50%
	日本語1会話A	工藤 聖子 (くどう せいこ)	火曜・2限	N313	複雑で、抽象的なことが話せ、相手や場面に応じた適切な話し方ができる。まとまった内容の抽象的な談話、専門的な談話が理解できるようになる。	論理的で説得力のある意見、情景や心情の詳しい描写、複雑なことの説明、社会問題の説明などを扱う。場面や相手に適した話し方、自分の意見を裏付ける情報の提示の仕方など、より分かりやすく使えるための表現や語彙を学ぶ。学んだ表現については適宜クイズを行う。具体的に取り扱うテーマについては適宜学生の関心のあるものを選択する予定。	プリント配布	授業での取り組み40%、提出物30%、発表30%
	日本語1講読A	新谷 あゆり (しんや あゆり)	金曜・2限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが読めるようになる。	小説『GO』金城一紀を1冊読む。時代・社会背景を考えながら登場人物の気持ちや展開を理解する。語彙を強化するために漢字の読みと語彙テストも行う。	『GO』 金城一紀 角川文庫	平常点（出席・参加度など）20%、課題40%、小テスト・期末テスト40%
	日本語1作文A	福島 恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・3限	N313	複雑で抽象的なもの、論理的なもの、専門的なものが書けるようになる。	描写文、意見文、レポート、要旨などの文章の書き方を学習する。具体的には、文章表現の知識、段落、定義、因果関係などについて学習しながら、論理的、専門的な文章を書いていく。また、ピアラーニングによる評価やAIを使用した活動も行う。	プリント配布	授業参加度（出席・授業態度）40%、作文（ピア評価シートを含む）60%

日本語 1 文法A	岡 智之 (おか ともゆき)	水曜・1限	N305	上級の文法項目を習得する。	オリジナル教材で日本語文法を学ぶ。日本語の助詞・複合助詞・類義表現を扱う。	プリント配布	授業での取り組み30%。タスク・宿題30%、発表とレポート40%
日本語 1 漢字A	稲田 直子 (いなだ なおこ)	火曜・1限	N313	1000字程度の漢字およびそれを使った語彙の運用力を身に着ける。	『Intermediate Kanji Book vol.2』の偶数課の中から、履修者の希望が多い課を学習する。授業中は漢字の使い分けや意味の違いなどを学習したり、学習した漢字を実際に使ってみたりする活動を行う。漢字の読み方や書き方など、基本的な情報は担当の学生が先生になってクラスメートに教える。宿題などはMicrosoft Teamsを使って行うため、授業中はパソコンやタブレットを持ってこることが望ましい。	『Intermediate Kanji Book vol.2』第4版、凡人社	授業参加度（出席・発表）40%・宿題提出 20%・クイズ 20%・期末試験 20%
日本語 1 聴解A	近藤 智子 (こんどう ともこ)	木曜・1限	N313	抽象度の高い内容や社会的・専門的 話題を含む音声資料を正確に理解できる。また、他者の発言を踏まえて自らの考えを述べ、議論を発展させることができる。	ニュース、講義、インタビュー、討論などの多様な映像・音声資料を用い、抽象度の高い内容や社会的・専門的 話題を理解する力を養う。アナウンサーによる標準的な語りだけでなく、さまざまな話し方や立場の異なる意見に触れながら、情報を批判的に整理し、自らの考えを構築・発信する力を高める。	プリント配布	授業参加（出席・活動参加・コメント）50%、課題提出 30%、発表 20%
日本語 1 特別演習 A [ドラマで学ぶ日本語]	宮本 典以子 (みやもと ていこ)	水曜・2限	N313	まとまった内容の抽象的な談話の流れが理解できるようになる。自分の考えを伝えることができるようになる。	日本のドラマや映画の鑑賞を通して特に「話し言葉」を実践的に学ぶ。学園に限らず、ビジネス、ミステリー、コメディ等さまざまなジャンルの作品を扱う。言語表現はピア活動等で学ぶ予定。 ・毎回課題シート提出。内容に関する問いに解答し、振り返りコメントを記入。 ・日本のドラマや映画に関する発表&交流を1回、またその他にもグループでの交流活動を適宜実施予定。	プリント配布	提出物（課題シート等）40%、授業参加度（ピア活動等）40%、発表・交流活動 20%
日本語 1 特別演習 A [ビジネスで学ぶ日本語]	福島 恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・2限	N313	ビジネスに必要な日本語の表現を身につけ、日本語を使用するビジネス現場で求められるコミュニケーション能力を養う。	日本での就職の際に必要なエントリーシートの書き方や面接から始め、その後、連絡、相談、感謝、謝罪などの少し複雑なビジネスコミュニケーションについて学習する。また、ビジネス文書、ビジネスメールなどについても学習する。7月に発表を行うが、テーマについては相談して決める。	プリント配布	授業参加度（出席・授業態度）40%、テスト20%、発表 20%、課題20%